座談会・有線のあれこれ

親しまれる有線に

〝将来は自動化も〟

あまり身近にあってわからないのが有線放送のありがたみではないでしょうか、とはいっても、有って無いと同じだという悪評のあるのも事実のようです。しかしそれは利用者の有線の立場を理解していないぐちであろうし、要望でもあるでしょう。

そこで有線から加入者へ、加入者から有線にそれぞれの立場の願いを話し合って、意志の疎通をはかりたいと計画を建て、その機会をつくりました。

ところで加入者の方の出席がなく、有線と広報との話し合いに終ったことは残念でした。

語る人

広報委員　入交君恵　藤本久江　寺川梅子　岡本好夫　久米徳幸　中沢浪治

＝まず有線の現状から

▼現在の加入数は四、三七九戸で、市の世帯数の約三割を占めている。もちろん県下では二千戸を越している市町村はないので一番加入者は多い、しかし、全国では五千戸を越しているものが多くあり決してトップクラスにあるといえない

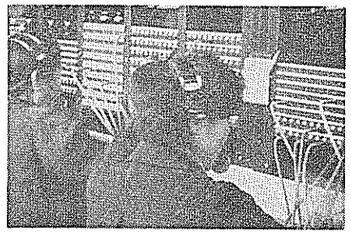
▼常勤の役員と職員は組合長を含めて三十人、そのうち三十二人が交換手、四人が機械や電話線の保守の技術員となっている。

▼私たち交換手の勤務は三交替で、週に一度の夜間勤務がある。夜間勤務は三人で、午後五時から翌日正午まで勤務している。

＝有線は相当親しみをもたれているが、……

▼親しまれていることは事実だと思う、中央でも重視し、これまでなかった有線に要する施設整備費が予算化され、ことしから五カ年計画で整備されることになった。また、電電公社の圧力もゆるくなり、こんどよくなることだろう。

▼これまで有線は、郵政省が掌握していたが、とんどの予算は農林省の方につけられている。しかし農事放送推進法は郵政省でつくられ、全国農事放送協会も郵政省のなかにある。おかしいことだがともかく予算化されたことは、国としても本腰を入れたといえる。



▼日本だけでなく、東南アジアの諸国も有線放送を重視し、日本の有線施設に関心をよせているという。

＝県下の普及率はどうか……

▼高知県は何事にも後進性が強い、有線もその例にもれず四国で一番低く、全国でも最下位にある。最も進んでいるのは岩手県で、農協に有線施設のないところはなく、とくに大型化されている。

▼有線は一区域一施設という制限がある。しかし、岩手県などの先進地では、町村が違っていても一つの経済圏にある農協が一つに合併し、五～六千戸の有線施設を作り、いまでは自動化をすすめるなど、先進地の意気込みは違っている。せめて、野市とか、土佐山田の有線と連絡ができると、有線の価値もまた違ってくることだろう。

＝他の有線との連絡はよいことだが、公社線との接続はどうか、……

▼公社線との接続はむつかしい条件があり、その負担に堪えられない。いままでは接続しなくても、一加入者につき十五円の使用料を公社に払っていたほどだ。公社との接続については法の改正を待っている。

＝有線の収支はどうか。

▼台風20号により災害を受けたが、それに対する補助があったので黒字になる見込みでいる。災害がなくてトントンといったところだ。

▼使用料でもうけようと思えばもうけることもできるが、そういうわけにはいかないので、災害を受けると困ることになる。

▼国は農基法による農業構造改善の進展などとともに有線を重視し、災害の場合も八割（激甚地は十割）の融資を出そうというまでの姿勢になっている。

▼電柱の使用料もバカにならない中国電力が一番高く、一本年千五百円、四国電力は一本三百五十円で、うちでは百三十万円の使用料を払っている。

告知放送はたいせつ
通話に重点を

＝できればコマーシャルや音楽は短くしてほしい

▼現在の放送、通話時間は、午前五時三十分から午後九時三十分

で、告知は六時正午、午後八時の三回、コマーシャルは七時三十分と正午、五時三十分、八時の四回行なっている。

▼コマーシャルやレコードを短くとか、音楽はやめてほしいという声は多いがレコードは聞かすためのものでなく、勤務の編成上のもので、交換手の交替、休息、食事などの時間に利用している。聞く方にとっては無意味と思われるが、必要上音楽を流しているので、みなさんの理解を得たい。

▼有線はもともと放送を主体とし、ついでに通話をやっている。農林省は放送時間を二時間ぐらいとれば通話時間の多いことを黙認している。しかし、公社では規則をつくりそれを規制している。広告料は年間百万円ほどで収入源の一つとなっている。

▼告知放送の利用が少ない。農業県として発展しているところは告知放送が盛んである。県や市は大いに利用してほしい。県民だよりのようなものをつくりたいものだ。

▼放送は一方通行であって、応答がなく張り合いがない。応答はなくても反応のある放送であってほしい。

＝部落のできごとや、人の葬行を知らせることは、放送に関心を寄せることになるのではなかろうか、

▼農業ということでなく農民を主体に考えてゆかなければならない。有線のみの計画では一方通行になりやすい。加入者の声を取りあげ資料を提供してもらうことによって親しみをもたせ本当に聞かねば損だというようにしたい。

＝公休日をどうしてつくったか、……

▼機械の保守と、職員の話し合いの会を行ない、運営をスムースにすることと、交換手の素質を向上させるために公休日をつくっている。

話し中は加入者にも原因が
小言は一番いや

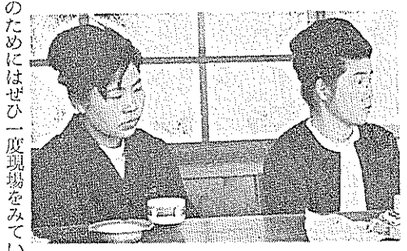
＝話し中が多くて困る、なんとかならないか、

▼一回線に十五から十七戸かかっており、交換手一人が一座席四十回線を受持っている。回線をふやし座席を増設すればある程度解消されるが、それはいまのところむつかしい

▼加入者にもその原因がある。ムダ話やうわさ話で三十分以上も話すものもある、話は要領よく簡単に、要点のみ話し、できれば三分以内に終るようにしていただきたいものだ。

▼呼び出しの場合でも一度切って先方から掛けてもらえば他の人が待つ間に利用できる、自分本位でなく人のことも考えて通話をしてほしい。

▼一度に四つ～五つの呼び出しがあっても、一つづつしか応答できないのでほかは待たすことになる、すると私たちはしかられ。しかる気持ちは良く判かっているが、一度に全部と応答できないことを知っていただきたい。そのためにはぜひ一度現場をみていただきたい。



▼しかるにもひとこと簡単にしかってほしい、ネチネチ二十分ほどもしかる人もある、これなども通話を遅らす原因になっている

▼加入者にしかられることは私たちの一番いやなことで、朝から気持ちよくいった場合はその一日の仕事に張り合いがでてくる。一日の通話数は一万三千回あって、朝の六時から八時が最も混雑し、また夕方も忙しくなる。あまり急そがない通話は日中の利用を考えてほしい。

＝自動化や、完全秘話にはできないか、

▼自動化するためには一戸三～四万円の負担が必要だ、また完全秘話にするためには一戸五百円以上の経費がいる。

▼夜間勤務は十二時までは待機しそれ以後に就床する、十二時まではハイヤーの用件が多く、十時頃から一時ごろまでは酔ぱいのいやがらせが多い。宿直で接続するのは一晩で二十四、五件ある、ときによっては朝まで寝ないこともある。

＝緊急通話料は高くないか、

▼時間外の通話はなるべくしてほしくないので高くしてある。急病人など本当に緊急を要するものには気の毒に思っている。

▼私たちの困ることは、受話器はずしのあることだ、受話器はずしはその回線すべてがかからない事になるので気を付けてほしい

▼また、声で呼び出す場合はベルが故障しているときと、故障の電話をさがすときベルと同時に番号を呼んでいる。

なお、フックをたびたびおす方があるが、緊急通話のほかは、たびたびおさないようにしてほしい

＝ともかく小言のあることは市民によろこばれ、それだけ利用され、親しまれているしょうこだ。広報も〝PR〟にたずさはるものだしお互に協力してゆきたい。